



2018年
4月10日
NO.433

九州旅客鉄道労働組合
福岡市博多区博多駅前2丁目3-23
TEL 092-472-7950(代)
URL http://www.jr-krwu.org
発行人/中原博徳 編集人/住吉一家

2017年度 女性組合員意見交換会



女性組合員意見交換会 (3月25日)

男女平等参画推進委員会は3月25日、福岡市内で「2017年度女性組合員意見交換会」を開催し、女性組合員アンケートの集約結果を共有するとともに、女性が働きやすい会社にするための課題や歴史を学習した。
また、意見交換会では、参加者の悩みや疑問にアドバイスするなど、充実した時間を過ごすことができた。

2017年度 女性組合員意見交換会には、九州各地から集まった約40名の女性組合員のほか、来賓としてJR西労組で中央執行委員(専従)を務める白壁靖子氏も参加した。
事務局を担当する吉田中央執行委員(男女平等参画担当部長)は、2017年11月から12月にかけて取り組んだ女性組合員アンケートの集約結果を報告し、泊まり勤務や不規則な労働時間が結婚・出産後も仕事を続けるうえで大きな不安になっていることや、仕事と子育てを両立するために時間単位の有給制度や事業所内保育施設が求められて

いること、不妊治療への理解促進や治療のための休暇制度の拡大など、女性組合員が考えている課題や要望を参加者全員で共有した。
また、白壁中央執行委員からは、「女性が働きやすい会社にするために労働組合が果たす役割」と題して講演をいただいた。



JR西労組 白壁中央執行委員

して活躍することのできる人事運用の必要性を学習した。

さらに、多くの人を知るだけでなく、様々なことにチャレンジすることができ、安心して失敗しながら経験を積んでいくことができる労働組合のメリットを強調したうえで、多くの女性組合員にも役員を経験してほしいとの考えを訴えた。

意見交換会では、パートナリ社員(地域社員)に対する住宅援助金の新設などの制度改善要望をはじめ、社員であるメリットや組合役員を引き受けて良かったことは何かなどの率直な疑問、結婚後も働き続けたい考えがある一方で、配偶者の転勤等により働くことが困難になるといった不安など、多種多様な意見が寄せられた。

18春闘 JR九州高速船株

10年ぶりのベア獲得 夏季手当も前年を上回る

JR九州高速船株の2018春闘は3月22日、社員(船員を含む)、パートナリ社員(パートナリ船員を含む)のベアアップ5000円、夏季手当2・52箇月(パートナリ社員・パートナリ船員は1・26箇月)の回答を引き出し妥結した。

JR九州高速船株で働く組合員は、厳しい経営環境のなか、安全・安定運航を確保しながら経費削減等にも懸命に取り組んでおり、ベアアップはもちろん、夏季手当の支払月数にも拘って闘ってきた。

JR九州高速船株の経営状況は、福岡航路において日本人観光客の需要は落ち込んでいるものの、韓国人観光客が大きく改善。対馬航路においても順調に推移し、通期業績も黒字化が確実視されるなど、改善がはかられている。また、日韓航路をメインとする新型高

速船の建造もはじまっており、明るい兆しが見えている状況である。
今春闘での会社回答は、JR九州労組の要求額と乖離はあるものの、10年ぶりとなるベアアップや、昨年を上回る夏季手当の回答を引き出した。

このほかにも、雇用継続期間が5年を経過したパートナリ社員・パートナリ船員を全員無期雇用契約とするほか、雇用継続期間が5年を超えたパートナリ社員・パートナリ船員が希望する場合は、社内で選考のうえ正社員に登用する社員化の

女性組合員の要望が前進 制服(スカーフ)のアスコット巻を改善

昨年4月、制服のリニューアルに合わせて女性が着用するスカーフの結び方がアスコット巻に統一された。アスコット巻はスカーフの正式な巻き方ではあるものの、肌に直接触れる巻き方であることから、肌荒れやアレルギーなどの負担を軽減するため、巻き方の改善や貸与枚数増などの意見が寄せられてきた。
会社は「制服の一部として品位良く身に付けてほしい」「スカーフが負担となる場合は、別に貸与しているネクタイを着用してほしい」としてきたが、粘り強く協議を重ねた結果、「アスコット巻を基本としたうえで、リボン巻等も可能とする」など、女性組合員の意見が大きく反映されることとなった。

- 【制服の着こなし】改正前
- スカーフは白のブラウスにアスコット巻とする。
 - スカーフのリボン巻等は不可。
 - スカーフの場合は、第一ボタン以外はとめる。

- 【制服の着こなし】改正後
- スカーフは白のブラウスにアスコット巻を基本とする。
 - スカーフ着用の場合は、着くずさないように注意する。
 - アスコット巻以外の場合は、すべてのボタンをとめる。

これらの意見に対して、吉田中央執行委員や白壁中央執行委員から「困った時は上司や分会役員に相談してほしい」などとアドバイスをしたり、「社員は不規則な勤務や転勤という不安もあるが、運転士をはじめ、社員にしかできない仕事を経験できるというメリットもある」とした経験を報告したほか、会社制度等に対する要望は労使協議に反映し、改善にむけて取り組むこととした。
なお、当日回答できなかった意見については、後日情報紙「おん・な」で回答することとしている。
今回の女性組合員意見交換会では、全参加者が意見を訴えることが出来たため、とても有意義な会になったのではないだろうか。男女平等参画推進委員会は、今後も女性組合員意見交換会を開催していく考えであり、より多くの組合員が充実した時間を過ごせるよう、参加者の声に耳を傾けながら、次回以降の開催を企画していくこととする。

日田彦山線の復旧にむけて

J R九州労組議員団が九州北部豪雨災害の現地視察・意見交換会を開催

J R九州労組議員団は4月3日、村山団長（太宰府市議会議員）をはじめとする11名の団員で九州北部豪雨により災害を受けた久大本線、日田彦山線の現地視察を行うとともに、復旧を



大量の土砂が残る筑前岩屋駅

現地視察では、橋りょうが流失した花月川橋りょう（久大本線）や、駅舎が倒壊した大行司駅（日田彦山線）、大量の土砂が流入した筑前岩屋駅（日田彦山線）など、特に甚大な被害を受けた箇所を中心に現在の状況を確認した。



J R九州労組議員団との意見交換会

7月に復旧を目指す久大本線・光岡～日田間の花月川橋りょうは、橋脚の建設が終わり、橋りょうも組み立てられるなど、順調な復旧状況を確認することができたが、巨大な橋りょうが流されたことを思うと驚きを隠すことはできなかった。また、日田彦山線ではいくつかの橋りょうが流失し

ているほか、変形した線路や崩壊した築堤が幾重にも続いており、あらためて自然災害の恐ろしさを実感した。大量の土砂が流入した筑前岩屋駅構内は、いまだに手がつけられておらず、広大な範囲で被災した厳しい実態をつきつけられるこ

分会を訪ねて

博多車掌区分会

皆で助け合える分会を目指して



◎ 執行委員長
新町 陽平

◎ 組織数
197名（組織率81%）

◎ 活動内容
博多車掌区分会は、博多車掌区に勤務する車掌や内勤者197名で構成し、青年・女性委員会の組合員が半数以上を占めています。そのため、フ

また、車内での切符の発券が、一行路で100枚を超える場合もあり、九州で中心となる車掌職場として、日々、安全の確立やサービスの向上に努めています。

分会役員は、全員が平成採用者となっており、組合員が多く集まることのできる行事の開催を心がけています。毎年6月には日帰りグルメツアー、9月にはキャンプを開催し、組合員相互の交流を深めています。昨年のキャンプは大野城いこいの森

で開催し、70名の組合員が参加する盛大な行事となりました。また、女性も多く配属されるようになり、女性による歓迎会の開催など、女子会も活発になっています。

人数が多いことから全体を統率することに苦労していますが、今後は組織の強化・拡大に力を入れています。そして、組合員の悩みや課題に対して皆で助け合える分会を目指して頑張っていきます。

J R東労組の大量脱退事件 脱退者は過半数超か？

「J R総連」過去には九州でも脱退策動

J R総連傘下のJ R東労組が崩壊にむけて突き進んでいる事は、J R九州労組新聞第432号にて伝えてきた。46,000名の組織数を誇ったJ R東日本の最大労組ではあるが、4月3日に記者会見したJ R東日本の深沢新社長によると、3月までに約14,000名が脱退、その後も脱退の流れは止まらず、過半数は

割ったのではないかと推定している。（一部では「3万人を超える勢い」との報道もある）

2000年10月、J R九州でも労働組合からの大量脱退事件があった。当時、J R九州には「ジェーアー九州労働組合（略称・J R九州労）」という労働組合があり、J R九州労はJ R東労組と同じくJ R総連

に加盟していた。J R九州労は、「対決型の労使関係からの脱却、革マル疑惑の解消をめざしてきたが、その体質は何ら改善されることはなく、このままでは自分たちの目指す労働組合の実現を果たすことは困難である」などの理由により大量に脱退。「会社と対等にして健全な労使関係を築いているJ R九州

労組の運動方針に基づいて頑張っていた」として、組織の80%にも及ぶ737名もの脱退届とJ R九州労組への加入届を提出した。私たちJ R九州労組は、一企業一労働組合をめざし、組織の強化・拡大、とりわけJ R九州労をはじめとする他労組からの加入を呼びかけていたが、あまりにも唐突であることや大量に脱退した経緯が不明であること、組合員の感情など、さまざまな分析を行う必要があることから加入については保留とし、緊急代表者会議をはじめとする機関会議

で対応を協議した。その結果、J R九州労の大量脱退は、「J R九州労組を乗っ取る」とする『潜り込み戦術』ではないか」として、J R九州労組への一括加入を拒否した。

その後、J R九州労脱退者は、「J R九州労組は無条件で加入を認めるとした約束を反故にした」などと嘘の情報をばら撒き、各地で新組合を結成。ついには新組合が合流しJ R九州ユニオンを結成。そして、J R九州ユニオンはJ R総連に加盟するといった茶番劇を演じたのである。

なお、この一連の事件は、過激派組織「革マル派」に乗っ取られたJ R総連が指導したものであり、革マル派活動家をJ R九州労組に潜り込ませ、組織を乗っ取るうとしたものであったことが、後に明らかとなっている。

※J R九州ユニオンはこの後、J R総連とのイザコザを経て2006年にJ R総連を脱退。（J R総連は2007年にJ R九州ユニオンを除名処分とした。）

現在、J R東日本では、多くの脱退者が出た職場を中心に「社友会」が立ち上

がりはじめているようだ。職場内に労働者の過半数で組織する労働組合がなくなつたため、36協定などの労使協定を締結するための動きではないかと思われる。

J R東労組の大量脱退の原因は、J R九州の事例とは違う。しかし、J R東労組・J R総連には革マル派の指導者が相当浸透していることから、J R九州での事例のように、社友会や脱退者の中に潜り込み、社友会の乗っ取りや新組合の結成などを経て、J R東労組と合流するような戦術も容易に想定できる。

J R東日本は我が国の中枢の動脈を担う公共交通であるが、そこに巣食う革マル派の存在は、安全・安定輸送の観点からも放置するわけにはいかない。過激派組織の策略を阻止し、J R東日本の良識ある社員に、J R連合への結果を呼びかけていこう。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障（個人賠償保障）

日常の賠償事故は、誰にでも起こりうることです。

飼犬が他人を噛んだ、マンションの階下へ水が漏れた、店の陳列品を落とした、ベランダの植木鉢が落ちて人に当たった…ふだんの生活の中に、起こりうる事故はたくさんあります。さまざまな賠償事故に備えるのが「個人賠償保障」です。

81424401E2144-20150209

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

オプション保障（個人賠償責任保険）は、共済火災海上保険に引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

交運共済 ニュース